

Press Release

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和6年4月23日（火）

【照会先】

鳥羽市 観光商工課 観光係

担当：勢力

TEL 0599-25-1157

世界海藻連合の来訪について

●概要：

世界海藻連合のヴァンソン・ドゥマイゼル氏及びヘレナ・アブレウ氏が視察のため鳥羽市を訪問。海藻の研究の現状や海苔やワカメの養殖の手法を研究のため、鳥羽市の水産研究所や漁業者の手法の視察に訪れる。

※世界海藻連合（Global Seaweed Coalition、GSC）とは、国連グローバルコンパクト事務局とロイドレジスター財団がフランス国立科学研究センター（CNRS）と共同で設立した、安全で持続可能な海藻産業の構築を目指す国際的な連合体である。

●目的：

日本が海藻利用の先進国であることから世界の海藻コミュニティーに日本の海藻養殖と加工に関する知識を共有する目的としている。

●訪問日： 令和6年4月23日（火）～24日（水）

●訪問者

【ヴァンソン・ドゥマイゼル氏】



ヴァンソン・ドゥマイゼルは、ロイド レジスター財団の食品・飲料・持続可能性プログラム担当副社長であり、『海藻革命』の編集者でもある。食品業界で20年の経験を持つヴィンセント氏は、現在、国連グローバル・コンパクトの海洋に関するシニア・アドバイザーも務めている。

彼は食品サプライチェーンの安全性を促進する革新的なプロジェクトへの資金提供を通じて、財団の慈善目的を主導している。また、国連とのパートナーシップを締結。

さらに、ヴァンソン氏はFAO（国連食糧農業機関）、世界銀行、WWF（世界自然保護基金）、大学、NGO、大手ブランドと協力し、世界の最も重要な課題（飢餓、地球温暖化、汚染、貧困など）に対処するため、海藻産業の拡大を呼びかける「海藻宣言」を発表した。現在、海藻関係者のための初の国際的プラットフォーム、世界海藻連合の共同リーダーを務めている。

【ヘレナ・アブレウ氏】



ポルトガル、米国、チリで教育を受け、海藻の生態生理学と養殖に関する24年の研究経歴を持っていて、2011年にALGAplus S.A.を共同設立し、大西洋産海藻種を有機認証IMTA陸上システムで養殖し、海藻バイオマスを栄養と健康に販売している。主な種は、アオノリ、ノリ、コディウム、グラシラリア。

商業的価値のある海藻の持続可能な利用を促進することを目的とした20以上の国際的プロジェクトやネットワークに推進・協力し、沿岸地域社会における収穫、栽培、応用、社会経済的影響を調査した。彼女はポルトガル国内外の大学から20人以上の理学士、修士、博士課程の学生を指導し、海洋科学と植物学に関する30以上の国際会議で講演を行っている。

●訪問先（予定）

日付	種別	出発	到着	項目	備考
4/23	訪問	9:00	9:40	鳥羽市長訪問	
	視察	10:00	12:00	鳥羽市水産研究所	
	視察	12:30	13:30	現地の藻場の視察	
	視察	15:00	16:30	鳥羽市立海の博物館	
4/24	視察	9:40	12:00	【答志島漁業現場視察】 ・海苔の加工場の視察 ・ワカメの種付小屋の視察 (鳥羽磯部漁協答志支所協力)	佐田浜9:00発 (答志行)の定期船に 乗船予定